夕刊 京城日報

白衣の勇士御慰問の東久邇宮妃殿下

官民多數奉迎裡に御機嫌麗しく けさ六時釜山に御上陸

【釜山電話】優渥なる國母陛下の思召により朝鮮各地の軍病院に於ける白衣の勇士御慰問の爲御差遣あらせられた東久邇宮妃聰子內親王殿下には十六日午前六時釜山入港の關釜連絡船金剛丸で釜山棧橋御着、總督代理大竹內務局長、阿部慶南知事、二宮朝鮮憲兵隊司令官、有地鎭海要港部司令官、飯塚鎭海要塞司令官、北野朝鮮軍參謀長以下軍部、出征軍人遺家族、愛婦、國婦の兩婦人會、在鄕軍人分會、初中等學校生徒兒童其他多數の奉迎裡に御上陸、鐵道ホテルに御少憩あらせられ、大竹內務局長、阿部知事、二宮司令官、北野參謀長、酒井大邱憲兵隊長、伊藤本府警務課長に賜謁同八時發列車で御機嫌麗はしく京城に向はせられた

定期敍勳

功三級 板垣征四郎

子爵 毛利元恒

漢口を目指す皇軍各部隊 一齊に皖江岸に進出

潛山の陷落は目睫

【南京十五日同盟】去る六日合肥出發以來泥濘の惡路と惡天候を克服して頑敵を擊破し舒城、桐城を陷れた我が精鋭部隊は、安慶を左側に望みつつ西南方に方向轉換をなし、十五日夕刻には潛山東方僅か一里餘の地點を東西に流れる皖江の線に一齊に進出したので、潛山の陷落も目睫に迫るに至つた

即ち緒方、宮崎、江島等の各部隊は十五日久し振りに晴れ上つた天候に勇氣百倍、早朝南方に向つて行動を開始し、炎熱灼くが如き山岳地帶の惡路を南進、正午頃には早くも桐城南方十里の高河埠を拔き之を右折し河南岸に沿ふて進擊、午後二時頃には皖江の線に進出した、十橋山、鑛谷、中村各部隊も續いて張宗鎭、三渡鎭を經て同じく皖江岸に進出した、更に古河部隊も支軍部隊と相前後して十五日夕刻には江岸に到達したので河を挾んで敵と相對峙中にあるが、敵陣營內には早くも動搖の色を見せつゝある模樣である

廣西軍を潛山方面へ增援

【南京十五日同盟】不落を誇つた舒城南方陣地及び安慶の陷落に驚愕した蔣介石は李宗仁麾下の廣西軍に對し急遽潛山方面に增援を命じその一部は南城から出發し既に大別山方面を行進中と言はれる、山岳地域を得意とする廣西軍を大別山の山岳地帶に派遣したことは特に注目される

厦門對岸の支那軍暴虐

【厦門十六日同盟】我が厦門海軍當局に達した情報に依れば厦門對岸嵩嶼南方の支那軍の暴狀は實に言語に絶するものがある、即ち福建省南部に於ける支那軍は沿海一帶の自動車道路を破壞し、橋梁を取去つたりして防禦陣地構築に日夜[illegible]なほたらぬ有様で地方の壯丁は手あたり次第強制徴發せられてをり、これらの壯丁のなかには逃走する者も續出、このため支那軍は各所に[illegible]人を一人々々[illegible]壯丁の逃走防止に[illegible]方軍費に[illegible]課し或は[illegible]の暴狀は[illegible]の的となつてゐる

漢口死守の要求を突き付く

中國共產黨が蔣に

【ニューヨーク十五日同盟】[illegible]中國共產黨は蔣に對して如何なる[illegible]漢口を死守すべしとの要求を突付けた[illegible]防衛線が二年[illegible]防衛して[illegible]民を率ゐて[illegible]に當るべき[illegible]

蔣政權の暴虐 近く全世界に發表

【東京電話】敗戰に敗戰を重ねつゝある蔣介石は黃河の堤防を破壞し自國の國土を荒廢せしめ無辜の數十萬の市民を塗炭の苦に陷れたばかりでなく、更に皇軍の漢口攻略に際し漢口郊外の揚子江堤防を決潰し漢口市內をも水浸しにせんとしてゐる模樣で、その非人道的暴狀は天人共に許さざる所にして全世界の公憤を買つてゐる、帝國政府は右黃河堤防の破壞を重視し關係當局においてその破壞狀況並に支那民衆の被害狀況等を調査すると共に、これに對する善後措置を協議し或は近く蔣政權の暴虐を全世界に發表することにならう

社會、農振の兩課を新設す

各道に產業部新設と同時に

本府は來る廿一日附忠北、忠南、全北、黃海、平南、平北、江原、咸南、咸北の九道に產業部新設を行ひ、從來の產業關係の行政機構整備することゝなり、これに併行して更に地方行政機構刷新改革を機會に各道の希望を容れ道內務部に社會課を、產業部內に農村振興課を新設することゝなつた、これが實現は七月を期して行ふらしくその內容は社會課は社會敎化、古蹟名勝保存、勞務調整、失業對策、體育獎勵、砂防、災害救助等の事務を分掌し農村振興課は從來各部課係に分散された農村振興運動事務を統一せんとするもので更に從來の產業課から水產關係事務を分離して商工課を新設することゝなつた

銃を與へれば銃口はスターリンに

蘇聯赤軍內部の無統制

【ワルソー十五日同盟】最近ポーランドの一般輿論はソ聯國內の情勢就中赤軍の現狀に關し異常の關心を示してゐるが十五日軍事通信は赤軍の現狀につき次の如き報道を掲載し注目をひいてゐる

トハチエフスキー元帥當時の赤軍はソ聯全土の青年層に多數の支持者を有してゐた當時の赤軍はソ聯に於ける眞の建設的仕事を遂行し得る唯一の組織であつた、だが赤軍指導者に對する一般の

信賴 が崩ずるにつれて赤軍はスターリンにとつて革命的使命達成の意義を失つてしまつたスターリンは赤軍の肅正を斷行したトハチエフスキー元帥やエゴロフ國防人民委員次長の如き最も有能な最高幹部が放逐され代りにフエジエコ次長やヤシヤデンコの如き無能な文官がこれに代つたので赤軍兵士の指揮と訓練に重大なる惡影響を及ぼし軍規は紊亂し泥醉や上官反抗が每日のやうに行はれるやうになつたトハチエフスキー元帥以來指揮に絕對服從した赤軍兵士は今や上官を間諜や叛逆者の如く見極つてゐる階級的軍隊の組織はレーニンの考とは全く背馳するものだが今日の國內情勢において流石のスターリンも現在の赤軍を改造して民兵制を實施することは到底出來ない、尚しウクライナ、キルギス人間の險惡な空氣や若い

農民 や都市居住者は一度彼等に武器を與へるならばその銃火が忽ちスターリン自身に向けられるのは必然だからである

極東高級官吏 一括に死刑

【モスコー十五日同盟】ソヴエート極東地方の反革命摘發工作は依然執拗に繼續されてゐる模樣だが十五日モスコーに到着した極東共產黨機關紙「太平洋の星」紙の報道によればハバロフスク最高法院において極東地方高級官吏五名その他十七名のソ聯市民がトハチエフスキー一派組織內において反革命妨害活動を遂行した廉により一括死刑の宣言を受けたと云はれる

松岡滿鐵總裁 板垣陸相訪問

【東京電話】松岡滿鐵總裁は十六日午前九時五十分陸相官邸に板垣陸相を訪問し入京の挨拶かたぐ滿鐵の實狀を說明し更に滿洲、支那に於ける當面の諸問題に就いて懇談した

恩給金庫理事長に 兒玉伯就任を懇請

【東京電話】政府は來る七月一日開設される恩給金庫初代理事長に兒玉秀雄伯の就任を懇請することに決し、十五日近衞首相が同伯と會見し際正式交渉をなした、兒玉伯は諾否を保留したが多分就任するものと見られてゐる

人

◇鶴見二月氏(專賣局北京駐在員) 十六日「のぞみ」で赴任

◇穗積殖產局長 二十一日「あかつき」で東上

◇松澤外務部長 渡滿中 十八日「のぞみ」で歸任の豫定

◇關原遞務局長 十六日夜十一時發平北へ、二十一日夜歸任

◇田中武雄氏(前警務局長) 廿四日「のぞみ」で京城通過北支赴任

蔣政權・一路沒落へ

蔣介石は下野か地方逃避か

上海にて 後藤特派員發 【下】

第一 の內訌の烽火は豫定されたやうに西南から擧げられた西南の主勢力が、李宗仁、白崇禧の率ゆる廣西軍であることはいふまでもないが、この他に、第三黨といはれる舊十九路軍(陳銘樞、蔣光鼐、蔡廷鍇)これに合流すべく運命づけられた陳濟棠(前廣東綏靖主任で、一昨年余漢謀に裏切られ下野)とその手兵及び一度は蔣介石に寢返つたがその後

廣東 の蔣獨裁化(その中心人物は吳鐵城)に脈まされ苦しんでゐた余漢謀等がある、これ等は、いはゞ寄せ集めの軍隊ではあり、勢力ではあるが、しかも相互の利害が、蔣政權に對して一致すれば、いつでも集合する、時に應じ、機に臨んで離合集散するのは機會主義者の常であり、支那のやうに今日の狀勢が明日に變る政情にあつては

利に 集ふのは止むを得ないともいへる、今までは鳴を鎭めてゐたといふこともできるし、機を窺つてゐたともいへよう、一方で、蔣介石が、整理すべき雜軍や、西南軍を抗日の第一線に動員して消耗し、そのまゝ蔣政權が小となるやうな軍一化され强化される機會に利しようと試みたに對して曲者揃ひの西南派が、この手にさうさう乘せられるはずもない、『あれほど西南派は身を挺して働いたのに遂にこれを

見殺 しにした』との大義名分をつくるには、西南派には絶好のチャンスでもあつたわけである、現に西南派から中央に要求してゐるのに

一、廣東空襲に對抗するため飛行機五十台を西南に提供せよ

一、軍費として百七十萬元を支出せよ

一、これ以上財界から軍費調達をするなかれ

等の いはゆる難題を吹きかけてゐるのであるが、蔣自身が軍費にも空軍にも困り拔いてゐる時、これ等のことを正面きつていふ西南派の意思に、蔣政權頼むに足らずと、次に天下に聲明し『救國のためには蔣政權は非力に』と反蔣勢力糾合のための第一の石を置いたものとしなければならぬ

蔣政 權は如何になるかといへば、昨年北支開戰以來、今日に至るまでの十一ヶ月間、日本ただく、支那をも含めての世界的關心であつた、余はかねて、南京政府が漢口に移轉した昨年秋にあつて、蔣政權は既に地方政權への轉落の第一歩を踏んだものとみたのであるが、徐州戰役、漢口の危機迫るに及んでは、その

第二 を踏み、しかも逃避にかゝれる者の驅け足の姿勢へとうつつたのである、漢口政府に、その財政、鐵道の二部を昆明に移し、軍事委員會を長沙に、他の政府各院、各部を重慶に移したと各地からの電報は報じてゐる、財政、鐵道の二部を昆明に移したのは、雲南省から佛印に通ずる鐵路の問題と、外資借存とを今後とも

あは よくば續けようと志す最後的なあがきによるものであると推測することができるであらう、只、英、米、佛等の各國が、沒落政權にいつまで未練をもち、その支援を續けるかには自ら大きな疑問が殘されるのはいふまでもあるまい

第三 第三の反蔣烽火は雲南、四川、西康、西北等からあげられようとしてゐる、これ等諸地方の實權者たちは過去十年、蔣介石のために一枝を切られ一根を斷たれて來た、そのまゝ推移すればいつかは全く窒息となつて氣息は絶えない時が來ると切齒してゐたので、いま蔣政權が內政的にも非力となつたのを機に、彼等が再興の擧に出りとするのは當然であり

また これ等が、所謂各地に烽起することになれば、自ら大勢力となる——だが、地域の遠く離れた彼等各地方政權の連絡には相當の時日を要する、だから、抗戰繼續による蔣政權の沒落が先きになるか、それとも各地烽起が先きになるかは、必ずしも的確には豫測できない

その 他大小の烽火はあるが、最後的の、しかも決定的のものは、蔣政權が頼みとする財閥財界からの反蔣烽火である、既に西南財界は、蔣政權のためには、これ以上の軍費支出をしないとの意思表示をしたとのことである、浙江財閥も、北方財閥(山西派、天津派)もその根據を占領されては、もはや軍費支出はおろか、日常の生活費にも

困る 位のことであつて、何等かの機會と口實とさへあれば上海、天津、山西等に復歸して、幾十年來の投下資本を活用したい氣持で一杯である、たゞ西南と四川の財閥は今までのところ無疵とはいへなくとも、まだまだ殘されてゐた、けれど四川財閥は、さきの劉湘暗殺事件から

張群 の四川省主席就任拒否等で分明であるやうに、反蔣の先頭に立つてゐる、西南の財界が今日反蔣の旗をあげてゐるとも、もはや財的支持は國內になく、また福建から廣東にかけこの出身者を最も多く持つ在外華僑の財的支援の如きも、その故鄕の反蔣空氣に追隨するのは當然であると見なければならぬ

かく て蔣政權は沒落の一路に追ひ落されてゐる、羽根をもがれ、毛をむしられ、咽喉に、心臓にまで故障を來たしてゐる蔣介石がいつまで頑張るか、支那の當局として、あす下野外遊しようともその前日までは敗色を出さないことに努める、もう頑張りが強がりでは通らない處まで切つけば詰つた蔣介石と蔣政權ではあるが、さりとて土壇場までは悲鳴をあげないのが彼等だ、徹底的に悲鳴をあげさせ、むしろ蔣政權の息の根をとめさせることこそ

今日 以後の日本の關心でなければならぬ、蔣政權はいかに沒落するか——言葉をかへていへば、蔣介石の下野逃避によつて責を負ひ局面收拾を圖ることになるか、それとも貴陽か昆明か、重慶かに、一地方政府として命脈を保ちながら、蔣一派の口舌を弄して『國ある限り抗戰する』となほもしかれもの、小唄を唱ふか

暴支 膺懲の日本にとつては、これからこそが、愈よ本筋に入り本舞臺となる處であるといへる

【線外赤】

十五日上京した松岡滿鐵總裁は辭任說を辭して曰く『やめるかどうかは總理に任かすよ、しかし俺も若い時に辭任しようと思つてもつひ仕事の魅力に引づられて居据つて來た、實は去年の滿業進出の時もやめようと思つたがやりたいことが殘つてゐたのでやめなかつたが、近頃年のせゐか根氣が無くなつて來た、だが疲れたからとかいやになつたからとかの私情では絕對にやめないよ』と何時もの元氣に似ずしんみり(寫眞は松岡總裁)

天地玄黃

愛國々債の飛ぶやうな賣行き 時局に處する大衆の心構への反映

×

暗黑の蘇聯を脫出して、王道樂土の滿洲國へ

×

他國に來て自分の國の惡口を言はねばならぬ惨めさ

×

希望と誇りに活くる者の幸福と感謝

×

自分で堤防を破壞して、自分自らが濁流に捲き込まれる支那兵のざまよ

×

政友會總裁問題お流れ——政黨といふものゝお流れである

夕刊六頁朝刊八頁

咸北(明川郡)海岸に蘇聯怪漁船漂着

【羅南電話】去る五月廿五日未明咸北明川郡西面菜東洞海岸に突如船籍不明の怪漁船が漂着したが部落民が發見、良化駐在所に急報、同所職員が急行、同船を押留した乘組員は全部蘇聯人で言語通ぜず直ちに警察部から係官急行取調べの結果、右は蘇聯極東漁業勞務所(浦鹽)漁船と判明、船長イグナチエウイッチ(三七)ほか五名の乘組員の供述によれば、二十二日浦潮港を出帆、沖合で漁撈中、燃料不足のため歸港の途中、二十四日正午猛烈な濃霧に視界を斷たれ進路を誤り前記箇所に漂着したと稱してゐるが、その供述に不審の點あり且つ燃料不足の口の下から船中にはなほ相當の燃料を持つてをりその裏面に或は重大な企圖が秘められてゐるのではないかと見られ目下極力取調中

紅繪曼荼羅 (56)

海音寺潮五郎作 富永謙太郎繪

海月なす(四)

『わしは、今日、そちに安心を得るに二途があるといふことを言つたな』

風齋は考へに耽るやうな眼を、爐火から眞直ぐに立上つて動かぬ壇に向けながら言ふ。

『賞の門と楯の門と、この二つがある。不智短才の下根の者には楯の門を示し、叡智の者に賞の門を示す、と言つたな』

風齋の言葉は、柳石に向けられてゐるが、その樣子は、まるで自分自身に向つて言つてゐるもののやうであつた。

『その賞の門——それを說明してみよう。賞の門に入る基礎となるのは、言ふまでもなく智識だ。渺遠の大古から人間が積み重ねて來た智識、それを足がかりとし、手がかりとして入つて行くのだ。とすれば、智識の本體とは何か、といふこと、それを先づ究明することが必要だ。さうであらう』

柳石はさうだといふやうにうなづいたが、風齋はそれを見ない。凝然な姿だ。それはかねての風齋の横溢といつた猛々しい樣子を見なれてゐる柳石にはひどく意外なものだつた。今はもう燃えきつてしまつた烟の立たなくなつた灰吹の上の空間を凝視しながら、依然として同じ調子でつゞけ

『しかし、それもまた根本ではない。人間のこしらへ、人間の發見した智識である以上、人とは何ぞといふことを究めて見なければならぬ』

『……』

『人とは何ぞ。一見この問ひほど馬鹿げたものはないやうである。人とは人である。かくの如く動き、かくの如く食ひ、かくの如く考へてゐるものだ。何の不可思議があらう——とかう言ひたい。が、更に深く考へる。人間の生命は如何。約五十年、七十は稀なりといふてある。五十年の生命、これを幾十萬年、幾百萬年、否々、永劫に出でて永劫に亘つてつゞく天地の悠々たるにくらぶる時、眞に一彈指の間に過ぎないではないか。獨り一個の生命が須臾であるだけでなく、人間の作る歷史そのものが須臾ではないか。無始無終の無限にくらぶる時、五十年も一萬年も同じく一彈指の間に過ぎぬ。更に、人間の肉體を。假へ丈は六尺を越えず、眼は一里の彼方を見ることが出來ず、耳もまた一里の彼方に起る音を聽くことが出來ない。廣大無邊際のこの大宇宙とくらぶる時、大海の中の一粟だにも如かない。禽獸と相去る幾何であらう』

『……』

『この卑小の肉體を持ち、この短き生命をもつて、永劫にして無限大の天地を窮めんとしても、とても出來ることではない。人間の智識と稱するものもまた眞にあはれむべきものではないか』

『違ひます!』

柳石ははげしく相手の言葉を遮つた。

『違ひます。人間は、勿論、先生の仰つしやる通り卑小なものではありますけれども、人間の智識は貴重なものです。人間は日月星辰の運行を見て、その間に一定の軌道のあることを知つて暦日を定めます。更に、五倫五常の存することを知つて、人間の生活を序でゐます。人間にこの智識があればこそ人間の生活は禽獸を離れてゐるのです』

が、風齋はつめたく笑つた。

『違ふかな、違ふかな。なるほど人間の智識は禽獸とくらぶれば幾分優つてゐよう。が、宇宙の無限大、永劫とくらべたらどうだ。人間の知り得たと思ふ智識は滄海の一粟に過ぎぬではないか。知つてゐようが知つてをるまいが、大した差はないではないか』

何を言ふつもりであらう?柳石ははげしい惑亂を感じて、相手の顏を見つめた。

季節の辻占は『凶』
當分は晴れたり曇つたり

季節の不運續きに雨は恣でゝに下界を眺弄し、戸惑つた行事はメモに混亂して、山は雷く、綠のかげ濃い舗道には時たま强烈な太陽がカーッと照りつけるが、それもしばし、久し振りに京城測候所に伺ひをたてた季節の辻占は案の定『凶』と出た、六月の季節はまた〳〵曇、雨ばかりでもないが當分天氣の續く見込みは無いとみつては、季節は當分亂調子、我輩にも「晴」とは申しかねる

二三日前から揚子江流域、東支那海、內地の方面に低氣壓、不連續線があり、高氣壓はオホーツク海と小笠原附近で氣流は一般に不安定のぐづつき天氣である、今朝も…ながら方々に低氣壓があつて今夜から明日にかけても晴れたり曇つたり、當分お天氣の續く見込はない、朝鮮の梅雨季の氣壓配置ではない樣だが……

長期抗戰下に備へて 京畿一帶の防空演習
今月下旬一週間に亘つて實施

京畿道では十四日午前十時から道會議室に今年度第一回の防空訓練打合會を本府から野口大佐、廿師團から住田少佐、石森少將の外遞信局、鐵道局、放送局、憲兵隊、專賣局、其他道內各府並に各郡、道關係者等約七十名出席の上開催、長期戰に對する防空施設及びこれが訓練について打合せを行つた結果、防空計畫に基き鎭海要港司令官又はその指定する者の發する防空警報の迅速確實なる徹底並に之に伴ふ燈火管制の訓練を主眼とし、併せて通信設備、燈火管制の恒久設備の完備を期することを目標に六月下旬から七月上旬にかけて一週間京畿道全道に亘つて一大防空演習を實施、家庭防護を中心とした國民防空の完璧を期すると共に長期戰に對する認識を一層深め銃後の護りを固めることゝなつた

美貌の信者に懸想
思ひ餘つて暴力沙汰

十六日午前一時ごろ西大門署矢住全南刑事が府內中林町聖堂前を通りかゝると、突然「强盜、人殺し」と女の悲鳴が聞えたので驚き聲を頼りに同町五〇林鎭華氏宅の大門を蹴つて入ると、洋服に中折帽の怪漢が部屋の障子窓を蹴破つて飛び出し板塀を飛び越えて逃走、部屋には聖書を胸にしつかと抱いて氣を取亂した美貌の乙女がわなゝき慄へてゐるのを發見、屋根傳ひに逃げる怪漢を追跡格鬪の上捕へた、この怪漢は同町二五八建築材料商一山商會店員府內竹添町三ノ五二六孫明洙(二七)で同人は妻女があるにも拘らず筋向ひの林鎭華氏の三女林內女さん(二〇)=假名=の美貌に懸想して再三言ひよつたがカトリック教の信徒であり、間もなく奉獻修道院に入つて清淨な身を神に捧げて修女にならうと日夜祈を捧げてゐたもので、修道中の林さんはこれには全然に氣付かずゐたところ、彼女が白百合の如く高尚であればあるほど餘計に懸想した孫は遂に暴力で犯さんと決意、十五日夜同家の家族が外出して不在なのを好機として塀を乘り越えて侵入、聖書を前に獨り端坐して祈を捧げてゐる彼女の部屋に飛び込んだものである

それとは知らぬ犯人の妻女は語る

「主人は相當家で私を熱愛してくれてゐます、決して外に女をつくるやうな人ではありません妻が最もよく自分の夫を知るはずです」(寫眞は犯人)

敵陣を眼の下に 城壁上の二墓標
『俺達の奮戰を見屆けろ』と 戰友が遺骨を分納

【〇〇縣城にて中川特派員】〇〇縣城の東北角の城壁の上、一千米前には敵がウヨウヨゐるところに新しい二つの木標がある、田中政一工兵上等兵と河原虎三工兵曹長の紙目の墓である

田中上等兵は去る四月二十九日候馬鎭と曲沃間の道路補修中樂村で十名の敵と遭遇し彈をうちつくし肉彈戰で勝敗を決せんとした刹那胸部に一彈を受け戰死、河原曹長は既報した通り去る四月十九日聞喜縣石碑庄南方で鐵道補修中壯烈な戰死を遂げたのであつた、遺骨がまだ部隊に安置されてあるので戰友の一人が『貴樣の敵討は必ず俺がしてやる、みて居れよ』と敵のよく見えるこの城壁上に分骨したもので、ビール瓶に麥の穗や名も知れぬ草がさゝれ、慰問品であらう羊羹を二本供へ、アルミのコップに水が汲まれてある、毎日のやうに戰友がお詣りし南部部隊長や將校も必ず命日には詣ることにしてある、墓護りのやうな城壁の警戒兵は生ける者に云ふ如く『昨夜は一寸やかましかつたらう、敵の奴がお定りの夜襲さ、また四人ばかり射ち殺したぞ、今に見て居れ、この縣城をとりまく敵を木葉みじんにやつゝけてやるからな』また或戰友は『暑いだらうが辛抱しろよ、俺達も晝夜の別なしの警戒だ、工兵が銃をとつての警備さ、おい、こゝからは戰場がよく見えていゝだらう』木標は白くキラ〳〵と光つてゐる、答へがないといふことは百も承知の獨言であるが戰友はものたりなさうに淋しく去つてゆく(寫眞はその墓標と戰友)

南苑の東方に 感謝の大忠魂碑
京津居留民の赤誠

【〇〇縣城にて中川特派員】勇士よ永に安らかに眠れ、護國の鬼と化した〇〇部隊勇士の忠魂碑が激戰の地南苑に建つことになつた――〇〇部隊とは全く關係のない人であるが、廣辻少佐は北支事變の先驅となり皇軍出動の魁として火蓋を切つた〇〇部隊の激戰の地南苑の東方二里の激戰の地、おそらく勇士の流した鮮血が大陸の地底にまで浸透してゐるだらう千年不滅の聖域を選び、高さ十三尺、幅五尺の大忠魂碑を建設し護國の英靈を慰めようではないかと、天津や北京の日本人居留民に相談したところ、〇〇部隊によつて生命、財産の安全を保つことが出來た兩地の住民はこぞつて賛成たちまちのうちに八千圓の巨額が醵金された、更に建設費を現地で募集し今秋頃除幕式を擧行する豫定である、この程廣辻少佐から〇〇部隊長に碑文を依賴したことから初めて廣辻少佐と天津、北京兩地日本人會の美擧が判り、早速〇〇部隊長は感激の揮毫をして送つた、二十九軍を殲滅した南苑から支那事變の戰火は北支に、中支に、南支に擴がつて行つたのである、いま想ひ出の聖地南苑に〇〇部隊勇士の英靈を永久に祀る忠魂碑が建設され感激を新にすることであらう

鮮展、地方へ巡回
今年は先づ釜山平壤の兩地

朝鮮美術展覽會も去る五日開會來る廿日を以て閉會されるが、人氣を呼び出品物の賣行きも例年より多く殊に大作の賣行きは鮮展開始以來といはれてゐるが、この內容に就いては各部批評家が發表した通り內地に比しても遜色ないもので半島工藝美術の向上を物語つてゐる、本府はこの際地方の人々にまで廣く展覽させる計畫を樹てゝゐたが、大體本年は平壤、釜山の二ヶ所で開催することに內定、慶南及び平南兩道當局と交渉が進められてゐる、目下慶南との交渉は略決定的と見られ、平南道との交渉も近く決定を見る筈で、その結果鮮展事務局では直ちに出品者或は買上者に對し交渉を進めることになり、作品の輸送については保險を附し貨車一輛を貸切で發送、七月初旬釜山で開催されることゝなる模樣で鮮展地方進出は朝鮮最初のことである

『魔窟脫走の少女』に 瞼の母親現る
けふ本町署で涙の對面

【既報】魔窟から脫出し不安の一夜を本町署で送つた京城西小門町八二宋小香(一七)は『私は支那人に誘拐された朝鮮人少女です』と言ひ張つてをり、母親と稱する宋桃氏(四二)は『私が手鹽にかけて育てあげた可愛い私の子供です』と二人は喰違つた陳述をしてゐたが、突然十六日午後零時半ごろ本町署司法係へ西四軒町九五米穀商林某氏の妻女李貞淑さんが姉の貴淑さんを伴れて訪れ

『十二年前の九月六日午後三時ごろ私の三女王鳳を女中に背負はせて煙草を買ひに出したところそのまゝ行方不明になりました、新聞の寫眞を見ると私の子供そつくりです、どうか會はせて下さい』

と瞼の母親を名乘つて出たので、司法係では參考として面會を許すと母親は幽げな記憶を辿り「私の子供そつくりです、なほ四歲の時煙草の火で右乳の上に指で押した位の燒傷がある筈です」と言ふので胸を見ると紛ふべくもなく既に十二年を經過し男の胸に折檻された痛い傷痕が殘つてゐるので、母親は『オ、王鳳だ可哀さうに――』と暖かい手をかけ早くも涙ぐんだが、既に王鳳と呼ばれても朝鮮語を知らぬ宋小香は何と答へてよいか言葉を知らずなつかしげに李貞淑さんの顏に見入るばかりだつた

また姉の貴淑さんもまだ幼い頃一緒に遊んだ記憶を辿り〳〵私の妹ですゝとかすかに言葉を洩らし不遇な過去に男々に弄ばれ變り果てた肉親の妹に堪へがたい憐憫の情をかけ涙の對面であつたが、また親と名乘つていゝか取調べの板挾みに人情ははさまれてゐる(寫眞は上が涙の母親、下が姉)

『火傷の痕が何より證據』 姉さん語る

姉の李貴淑さんは語る

「母も私も妹の王鳳と信じます何よりも左胸の乳の上にある火傷が證據です、王鳳を誘拐した女中は現在も京城に居ると言ふことですから探し出してきつと妹の王鳳だと名乘らせてやりたいと思ひます、ふみにじられた妹の人生を思ふと泣けて來ます」

娘さん家出

江原道鐵原邑四要里… 二女トキさん(二〇)は十五日朝鐵原へ行くと言つて中型柳行李一箇を持つて家出したが、京城の親戚に立寄つた形跡があるので龍山署へ保護願を出した

帶の中から大金
チンピラ二人捕る

十五日午後三時半頃京城本町一丁目派出所員が南山町一の一六先で擧動不審のチンピラ二人を派出所に同行し取調べた處バンド代りの帶の中に二十六圓六十五錢といふ身分不相應の金を縫ひつけてゐた、觀底町四六の六二四無職朴某と同町二五〇無職趙俊植で去る十一日から十五日まで京城劇場や中央館等で四回に亘つてスリを働いてゐたことを自白した

刎ねらる

十五日午後四時四十分ごろ京城南大門通五丁目セブランス病院停留所前を同町…の出前持安順毅(二〇)が自轉車で電車軌道を橫斷せんとして、驀進して來た漢江行電車(運轉手徐聖煥)に刎ねられ頭部を强打セブランス病院で手當を受けたが死亡した

流石はキング

今度のキング七月特大號は素晴らしい小說讀物だけで二十餘篇に及んでゐる。其の外長篇小說や名記事が數十篇あり、折本附錄もついてゐるキングは流石に大雜誌だ。

野球選手服毒

京城明治町六一… 君(二〇)は昨年野球練習中頭部を打ち治療につとめたが經過惡化するので、結婚前の身を悲觀し十五日朝自宅でアダリン自殺を企てたが手當の結果助かる模樣

忠南號獻納式 廿六日に繰上

【大田電話】愛國海軍忠南號の命名並に獻納式は廿九日長項に於て擧行のはずであつたが都合により廿六日に繰上げ變更された

內地人名譽理事
中央基督敎青年會の要請で 二名就任に決定

基督敎徒の內鮮一體によつて日本精神基督敎の建設をめざして約二萬の會員を動員し事變下に邁へる半島基督敎の第一線部隊として起上つた京城鍾路二朝鮮中央基督敎青年會では既報の如く四十年の歷史を持つ國際基督敎青年會聯合會から脫退、燃ゆるやうな愛國の旗の下に力强いスタートを切つたが、同會では更に內鮮一體への具現化のため理事會の決議に基き京城長谷川町にある內地人側京城基督敎青年會に名譽理事二名の就任方を要請したところ內地人側青年會でも大に欣び十四日理事會を開催、協議した結果丹羽淸次郎、笠谷保太郎兩氏を推薦すると同時に一歩進んで今まで內地人側青年會には尹致昊氏が名譽理事として就任してゐたものをこの機會にもう一人朝鮮人側の理事を增員することにしようと申入れ、人の推薦方を中央青年會に要請して來た

貰込み店員 主人に發砲
危ふく命中を免る

【平壤電話】十六日午前十一時半ごろ平壤府山町三四商業通信平壤支局長野田浩氏方雇人白樂鉉(二〇)が野田氏から社金橫領について詰問され矢庭に十連發拳銃で野田氏目がけて二發を發射、白シャツ一枚で跣足のまゝ逃走した、平壤署では直に武裝警官で非常線を張り犯人逮捕に努めてゐるが、犯人は尙八發の實彈を有し拳銃も出所不明のため重大視されてゐる、撃たれた野田氏は一發は右をかすめ二發目は無意識に握り締めた帳面で彈をはじき微傷だに負はず奇蹟的に助かつた

分業(?)の窃盗
一味七名遂に捕る

去る三月ごろから京城新設町を中心に東部京城を荒しまわつた盜む者、持ち出す者、賣る者と分業的に組織された七人組窃盜團が東大門署に檢擧された、東部京城一帶に三月ごろから時計、食器、衣類家具等の盜難が頻發したので東大門署で鋭意犯人搜査中のところ新設町强盜事件で不良狩りの結果新設町一三二林忠煥(二〇)林東煥(一七)兄弟、同町三一四高仁男(一七)三人の所爲と睨み行動を監視してゐたが、六月一日證據を得て右三人を檢擧した

三人は林忠煥が盜品を持ち出し忠南生れ住所不定朴在源(二〇)、慶北生れ住所不定權學守(二〇)、忠北生れ住所不定權元澤(一九)に賣却を依賴し、新堂町三〇二古物商李某を仲介に賣却利益を山分けとしてゐたものであるが、その連絡は全く緊密迅速で搜査の警察官の目を巧に逃れてゐたが現在判明したゞけでも被害件數五十餘件約千圓に上つてゐる

傳染病豫防藥勸奬

京城龍山署管內では本年一月以降六月十五日までにヒアミー六、赤痢、疫痢患者二十六名を出してゐるが夏期傳染病に備へて近く町會に諮つて赤痢豫防藥を共同購入し服用を奬める事になつた

今晩のラヂオ

六時ハーモニカ合奏(城)行進曲外▲七時三〇分國民歌謠(大)乙女の唄外▲七時四〇分講演(城)城大教授秋葉隆▲八時連續講談(東)最上德內▲八時三〇分長唄(關)明治天皇御製外▲八時四〇分太平船唄▲九時物語(東)

大學專門籠球戰

大學專門籠球夏季リーグ第五日は十五日午後三時五十分より獎科コートで擧行

	前半	後半	
普專 69	33	36	
城大 32	23	9	
中專 52	25	27	
獎科 42	24	18	
法專 32	14	18	
世專 29	10	19	

十六日朝の概況

高氣壓は樺太、滿洲から日本海に延びるものと小笠原島附近から沖繩方面に張るものとあり、本邦南方海上から西日本朝鮮、滿洲及それ以西では氣壓低く諸所に低氣壓があり不連續線を伴つてゐます、天氣は內地で朝鮮も曇りの所多く時々小雨を見る所もあります滿洲も時曇一定せず北部では雨の所もあります、鮮內の氣溫は大體平年より一度低目、東海岸では三四度の低目を示してゐます

京城地方【今晩】晴れたり曇つたり【明日】同じ

仁川地方【今晩】風弱く曇一時晴【明日】曇時々晴

京城溫度(十五日)最高二十一度一 最低十七度(十六日)正午廿一度九

天氣豫報(17日)

地方	風	天氣
京畿 黄海 忠南北	南乃至西の風	晴れたり曇つたり
全南北	南東乃至南西の風	一般に曇勝だが雨がかゝる所もある
慶南北	〃	晴れたり曇つたり
平南北	〃	大體は曇だが所に依ると雨がある
江原 咸南	南北東乃至南東の風	大體は曇だが霧がかゝる所もある
咸北	〃	〃

仁川の潮時(17日)

	午前	午後
滿潮	[illegible]	[illegible]
干潮	[illegible]	[illegible]

待望の賞與七萬圓

使つちや困るよ貯金せよ

二十一日からは貯蓄週間 忠北各機關總動員

【清州】忠北道では百萬道民をして非常時國家財政經濟へ協力せしむべく現金二百萬圓、備荒貯穀七萬石(換算百萬圓)合計四百萬圓の貯蓄を目標に近には貯蓄獎勵委員會を設置して道内各機關を總動員し一大貯蓄運動を起したが本月は恰も銀行、會社、官公署等職員の定期昇給、ボーナス期で金融組合職員約?萬圓、銀行、會社等約?萬圓その他官公署職員約?萬圓合計約七萬圓の昇給ボーナスに達する見込みであるのでこれ等の昇給ボーナスを貯蓄に振り向けるべく働きかけ特に來る二十一日より二十七日までを貯蓄獎勵強調週間と定め各機關總協力を求めて道民の貯蓄獎勵に拍車をかけることゝなつた

水原の繭共販開始

【水原】郡農會では十一日から(二十日間)水原、烏山、南陽、發安の四ヶ所で繭共販を開始してゐるが郡内の飼育戸數は三千六百戸、掃立枚數二千枚、收繭豫想は一萬二千貫で、本年は寒波のため桑不足を患はしたが至つて良好で前年に比し一割位の増收であつた、なほ水原第一日の出繭は二百三十貫であつた(寫眞は共販場の盛況)

釜山の自動車 賃金値上申請

【釜山】燃料節約の非常時局を反映する釜山の自動車組合では合理的經營の對策を樹立するため去月下旬總會を開き協議した結果府内運轉の料金を左記
緑町、大新町、草梁橋以南牧の島青鶴洞を除く府内片道八十錢を一圓に往復一圓五十錢(特定距離料)松島、牧の島青鶴洞草梁町以北田甫橋まで片道一圓を一圓廿錢▲東萊溫泉片道?四圓、往復五圓を六圓▲?溫泉片道四圓を五圓往復?七圓五十錢
に改訂し、時局からの經營難を切り拔けることに決し目下道當局へ料金値上げの申請中である

釜山で汽船と帆船衝突

【釜山】十四日午後五時過ぎ?から釜山へ入港せんとした?船太平丸(一九七噸)が港内西方で府?の春?丸曳船中の帆船[illegible]

隊長殿この仇を討つて下さい

壯烈鬼神も泣く徐州戰の華 森安軍曹の最期

【清津】去る四月二十七日徐州附近の激戰で天晴れ名譽の戰死を遂げ、護國の人柱となつた森安武軍曹は鳥取縣西伯郡?村森安佐五郎氏の甥子で、實父である佐五郎氏の兄武氏は目下府内敷島町に居住してゐるが同軍曹の上官である小村隊長から佐五郎氏に宛てた同軍曹戰死の狀況を知らせた手紙がこの程實父武氏の許に屆いた、以下はその手紙の大要で壯烈鬼神を泣かしめるものがある

去る四月二十五日薄暮を利用し〇〇陣地を攻撃致し〇隊は右第一線となり敵銃砲火を冒して前進し一氣に突入致し敗退する敵を追射或は斬り倒し午後九時頃には完全に同地を占領致しました、小生も生れて始めて人を斬り貴重な體驗を得ました、その時森安伍長も小生と共に眞先に敵陣地に突入し、數名の敵を射殺し、實に勇敢に奮闘してくれました、同夜十二時敵の逆襲あり、これを難なく撃退、更に二十六日午前四時半頃敵兵數千名逆襲し來り、我を全く包圍したが克く奮戰力闘天明後に到り漸く敵を撃退致しました、敵は四五百の死體を遺棄して敗走し、多數の兵器彈藥を鹵獲、大勝を博しました、この戰闘にも森安伍長は自ら敵を狙撃し、又手榴彈を投擲して勇敢に奮闘してくれました同日薄暮を利用して〇〇部落に接近し、翌二十七日午前十時半頃より攻撃、十一時頃同地を占領致しました、この戰闘において〇隊は第一戰に突入し、敗退する敵を追ふて部落南端に進出するや、同地は集團家屋があり、土壁を廻らし、土壁には銃眼を設け、約二百餘の敵は未だ頑強に抵抗しつゝあり、突入と共に間もなく、森安伍長と小生二名にてその敵を發見し森安伍長は直ちに射撃したが、敵は多數を頼んで我に亂射し、敵彈小生の頭上をかすめ「やられた」と思つたが鐵兜に因抵を生じたのみで傷なし「森安伍長危險だ」と注意せば立射で射撃してゐたのを膝射に姿勢を變へた瞬間「やられた」の聲に驚いて見れば右大腿部骨折、貫通銃創を受けてゐる、直ちに木陰に運んで手當中「森安は大丈夫です早く前進して下さい」といふ時後援が來たので二名に手當を命じ「それでは行くぞしつかりしろ」とて別れました、敵は我が猛撃に堪へ兼ねて南方に向つて退却を開始しました、これに猛射を浴せ殆ど殲滅致し森安伍長の仇も討ち同時に引き返して直ちに見ました、軍醫の手當も終つてゐましたが出血多量のため苦しさうでした、小生の顔を見るや戰死の報をしつかり握り「仇討つて下さい」と私に一言もいはず午後六時[illegible]殿の聲と共に靜に瞑目されました大切な御命を殺し何と御詫してよいか判りません然し乍ら君のため、國のために許し下さい、立派な働きと御戰死は軍人の本懷と思ひます

五月三日夜?城内にて 小村忠?

血染めの日の丸

六名の學童 勇士を激勵

【光州】全南光山郡林谷公立尋小[illegible]生?宗?(?)同校?直來?外五名は去る〇月〇〇日は午後九時二十分?通過の勇士を見送り前日密かに五人が左小指を切り日章旗二枚を?川茂氏ほか一勇士に贈つて"何うかお國の日の丸と"祝出征"を書いた血の日の丸を[illegible]勇士に贈つて"何うかお國のために頑張つて下さい"と激勵[illegible]勇士も涙を流し決意を固め[illegible]出發したがこの程?山茂氏より同校?君に左の如き便りが屆いた
"立派な日章旗有難う、僕は(中略)しつかり頑張つて一刻も早く第一線に立ち立派な働きをしますあなた方もしつかり勉強して下さいではお便りします……"

重荷を降して一息

やつとくつろいだ兒島知事 つもる話を一席

【羅南】大谷拓相を城津まで案内した兒島知事は十二日午後道?を經て城津、吉州の農村を視察し、時局下資金關係の殖ましい折柄へて記者團と會見大の如く語つた
"此度百六十萬圓をもつて雄尚漁港修築が承認されたことはとりも直さず同漁港の實現が生産力擴充の國策線に沿ふ所以であると確實するもので今日迄會の協贊を經たことは誠に愉快である拓相を案内しての歸途、城津吉州の農村に立寄り、煙草耕作の試作狀況を視察したがまだく大いに改良の要があると思つた今後充分研究の上指導改良に留意したならば煙草産地として或は亞麻の産地として充分工業化され得るであらうと思ふ、吉州の農學校を視たが非常によくやつてゐる、校長以下職員が非常に熱心に農業實踐教育にあたり果樹煙草等の園藝、その他の實習の成績は相當に見るべきものがあつた將來は北の農業經濟も從來の單作主義から果樹煙草等多角作農業に移行せねばならぬと思ふ"

清津水産學校 入試合格者

岡部正利、林桂、金圭浩、金滄永、嚴敬敏、金班式、李?雀、金東敏、金石現、沈學?、岡部?太郎、岡本朝?、新井章一、平?登、仁木忠三郎、林正秀、金?鉛、?相?、田中松雄、李春吉、?商玄、金永德、?志彬、趙?元、?成鶴、李秀安、金南先、?城中、李乗先、?元京、金?佳、宋世?、金?華、朴元國、?基俊、?弘?、金秉?、?尚一、李根熙、吳炳?、李鳳來、石信?、金正?、?允?、吳忠吉、姜?求、金元柱、朴昇午、金永智、東方日?、?永武重、飛野次郎、古田千秋、溝口紀之、宮崎賀、?田作左エ門、小林喜助、米谷守人、木村操、?川?吉、松本直巳、武?弘、李太?

盗んで暴行 逃げてお縄

【大田】?山郡古縣面大川里日稼金殷?(二?)は昨夏八月十六日夜九時頃?山郡近興面水?里農業?方土間で同宿?中の同里?李?(?)のチヨッキポケットから六圓二十一錢入りの財布を窃取し同里李?甲方に潜伏中を同夜十時過ぎ同里?宗?に發見されその返還を要求されるや他所に隱してあるといふので同行を促し家人不在中の張方に飛び入れ返還を拒絶した上?で?部?を殴打し散々暴行脅迫して逃走した事最近に至つて[illegible]

母性愛は泣く

奈落の底に落ちた娘を 救つて下さいと警察へ

【城津】母を裏切つて家出した娘を再び抱かんとする母性愛は叶へるか、警察へ持ち込まれた人事相談……邑内本町居住の?金?(?)は家計の貧困から今を去る三年前同町更科へ子守として奉公してゐたが何時の間にか人生の奈落に落ちて無斷家出し、酒場の?女として吉州、清津、鏡城の各地を轉々してゐるうち六百圓の借金が出來て首が廻らなくなり果ては人肉市場?京?に身を賣つた
ところが某樓の主人某氏は同女の實家が城津にあることを聞き父母の承諾書を得るため連れ來て母林姓女(假名)に逢はせたところ三年前家出した娘の變り果た姿に驚き、娘の身賣りを承諾する筈なく、取り戻し交渉をしたものゝ勿論家には蓄財なく、何とか工面して三百圓は出すから娘を返してくれと署へ願ひ出た、伴れてきてばかを見た樓主は怒つて詐欺として告訴するといつてゐるが彼の女の運命は果してどうなるであらうか

不貞の年増女 法廷に悄然

愛兒も棄てゝ情夫に走り 本夫から離婚訴訟

【咸興】夫と實子を置き去りにし情夫の許に走つた年増女が夫の離婚訴訟により十五日咸興法院で裁かれた
府内河?町?人は大正九年被告ツネ(?)―以上何れも假名―と結婚して翌年渡鮮、北鮮各地を轉業し、昭和八年來咸興朝日町に居を構へたが丁度その頃隣りに移轉して來た和服仕立業中村辰次郎と知合ひとなり、妻のツネは同人から裁縫を習つてゐるうちたゞならぬ仲となつた、然るに中村は以前弟子の某女と不義をし、その間に產まれた男(?)―假名―の處置に窮して河津夫婦に頼み、同夫婦の次男として入籍してもらつたが昭和十年三月中村は刑事々件で?方面に逃走、一時姿を晦まし、本年二月十三日自分の子煩男に會ひたいとて再び?成した、ツネは自宅に泊らせ、夫の目を盗んで不義を重ねるうち遂に夫に見つかり、その後中村は人の目を掠つて府内本町二丁目に?居してから後もツネは中村と?合を續け遂に本年二月三日實子忠男―假名―を殘し中村の子を伴れて中村の許に走り、?然として同居してゐるのでたまりかねた夫が離婚訴訟を起したものである
ツネは法廷で菊地裁判長の訊問に對し一言の答辯もせず、訴訟事實を默認中村の子を背負ふてしよんぼりと最後の斷罪を待つの態であつた判決言渡しは來る二十一日

小娘濁流で溺死

【順川】十一日朝來の豪雨で高大面新興?野は一面の泥海と化したが十二日朝同面?里金性の?娘?有順(?)は前日邑内の叔母宅に使ひに行きその歸途?水した道路を通行中激流に押流されて溺死してゐるのを部落民が畓の中で發見した

弟が兄の仇討ち

殴つた男を殴り殺す

【新義州】殴られた兄の仇とばかり殴り返へしたのはいゝが度が過ぎて傷害致死に問はれた男―平北楚山郡城西面龍上洞?李昌?(二?)は去る四日兄の李昌?(二?)が同面舞?洞李昌?に左腕を殴られたのを知り同日午後四時頃仇を討つてやるとて李昌?方を襲ひ?酊して同人を?した?李は新割斧を持ち出して生?け?りに打ち掛つて來たので松丸太で立ち向ひ同人の頭を殴り、頭蓋骨折を負はせ李昌?は腦?血を併發して五日午後八時死亡したといふのである、目下楚山署で取調べ中

少年の掏摸

【大邱】十五日午前零時半頃府内南山町?附近を徘徊してゐる怪少年を?會所員が?問したところ?州生れ住所不定?(十?)で約三ヶ月前から?山町市場附近を根城に?回スリを働き更に自轉車?門に泥棒してゐたことを自白したが被害額は數百圓に上る見込である

内地出稼ぎ男 殺人強盗の

手配で捜査

【釜山】慶北善山郡善山面生れ金?(二九)は内地出稼ぎ中のところ本月三日歸鮮し去る八日大邱天一ゴム工場に就職する觸りで妻子同伴で出發した後へ愛知縣刑事部の手配で強盗殺人被疑者として手配があつたので行方嚴探中であるが釜山へ入り込んだ模様なので目下嚴探中である

主金を拐帶 晋州の惡店員

【釜山】慶南晋州邑櫻町海産商?貸用方店員?鎔?(二?)は十四日午[illegible]

一家四名殺傷

妻に振られた男寢込み襲つて 恨みの兇刃を揮ふ

【光州】[illegible]居住者以均(二?)は郡山面龍[illegible]を拒否したの[illegible]に被害者方に忍び込み就寢[illegible]の四名に鋭利な庖丁を揮[illegible]ある、犯人は兇行後逃[illegible]所轄署及道内各署に手配[illegible]巡査が取押へ目下嚴重取[illegible]

貧故の愛兒殺し

鬼の母親へ送局

[illegible]

妓生を中心に花札賭博

【新義州】十?日午前二時頃[illegible]町朝鮮券番妓生文明月(二?)方で女をはじめ龍川郡外上洞?車?明?(二?)ほか男三名に有職?一名を交へた五人が車座になり花札賭博を開帳中を署員に踏み込んで?數?に?捕、彼らは一回十圓から八十圓を賭けて常習的に開帳してゐたもので文明月などは八百圓餘をとつてゐた

ぐれた農會雇員

庭球界の花形選手も今は夢 公金横領でお裁き

【光州】往年の全鮮庭球界の花形光州府東町二張?基?(?)は去る昭和十一年四月十五日全南道農會雇員に拾はれ至年共濟特別會計、その他一般違算外現金取扱事務擔任中を奇貨とし翌年三月二十五日莞島郡に出張して同農會より道農會に納入すべき會費三百二十七圓を領收し、同夜同邑内で遊興費に費消したのを手始めにその後數回に亘り高興、羅州、寶城、長城、光陽、京城朝鮮農會より送つて來た會費約四千餘圓、その他昨年事變發生後二百五十萬道民が赤誠をこめて醵出した獻納棉花代金として靈光郡農會から送つた約七百圓を横領して府内各料理屋、カフエーに入浸つて費消し一部を住宅、水田購入費と生活費に充ててゐたがその穴埋めに光州府内全羅?、?仲萬、?林?、崔在洙京城金明仲、車萬?他數名と賭博をうち、これも完全に失敗してしまひ一方横領した金額の受領書を道農會長名義で僞造したことがこの程發覺、光州警察署より一件書類と共に送局、二十一日午前九時光州法院で第一回公判が開かれるはず

◇……【羅南】十二日夕のこと本社羅南支局に、一羽のかち鳥がご入來、さて何かの瑞兆かは知らず
◇……ところでこのかち公非常な愛嬌もので馴れつこいこと家人の膝の上、肩頭、ところ構はぬ濫歩ぶり
◇……時々食膳の上にとまつては家人と一緒に皿をつゝくお得意の伴奏もやる、歡樂の一役遺憾なく相つとめます
◇……たゞチヨイ〳〵頭の上なんかで排出作業をやらすのには閉口ですが、負けてもかち鳥……かつぐには満點
◇……お所望とあらば呈上も致します、右報告如件

快男子（くわいだんし）（69）

大島伯鶴演　今村恒美畫

穴から出た怪男子

穴の中から出て來るといふ、部長の言葉に、警官隊は色を變へる、百姓達は狼狽へ出す。それでも獵師だけは、鐵砲を持つてゐるから心強い。各自に鐵砲へ彈丸をこめて身構へをして居りますと、ズシーン〳〵と音を立てゝ出て來たのは、身の丈六尺あまり、頭の毛は長く延びて肩を打ち、揉上げから顎へかけて鬚が蓬々として、湯浴をしたことがないと見えて、毛の先は眞赤に汚れて、西洋のやうな眼の奥の方でピカリ〳〵と眼玉だけが光つて居ります。身に着けてゐる衣類は、紺の大柄のやうですが、ぼろ〳〵にちぎれ、天竺木綿の兵兒帶は鑛油で濫しめたやう、見るからに物凄い男、蝋燭を突ツかけ、のそり〳〵と穴の中から出て來た、これを見た巡査部長は威丈高になつて、

部長『コラッ、貴樣は何者かッ』

といつたが、彼の怪男子は、巡査部長の顔を穴のあくほど見詰めて居りましたが、答もせず、兩手を上げて大欠伸。

部長『コラッ、貴樣は口が利けんのか、アーン貴樣はこの穴の中で、火を燃やしてをつたのか、コラッ……』何を訊いても答をしませぬから躍起となつた部長。

部長『ソレ縛せッ』

○『ハッ』

一人の巡査が飛びかゝつて、怪男子の手をつかまへて後へ廻さうとすると、別に手向ひをする樣子もなく、おとなしく後ろへ手を廻して縛に就きましたから、安心した警官隊。

部長『あアこれからこの穴の中を調べて見なければならぬ、誰か入らぬか』

といつたが、やはり誰も入る者がございませぬ。

部長『オイ、誰も入る者はないか遠慮をするな』

○『遠慮をします』

巡査が皆尻込みをするので仕方がない。勇を鼓した巡査部長、眞すをつけては一足また後すざりしては一歩進みしてだん〳〵と進んでまゐりますと、十間ほど行き當りに曲つて居りますが、突當りになつてゐて、その横から明りが差して居ります。左の方を見ると、それから奥は少し間で行き止まり、大して深い穴ではございませぬ。よく〳〵見ると、木を伐つて來たのを、岩と岩との間に突ツかけ、滿水の下へ垂れないやうに、組立たのを上へ〳〵と揃込んで天井を張り、まるで馬小屋のやうに疊が一枚敷いてあつて、その上に筵が敷いてある。掛けて寝てゐたらしい氈もそこに三枚ばかり、岩を切抜いて棚のやうな大きな棚を中へ突込んで棚になつてゐる、蝋燭をしてあつて蝋燭を見ると、日本の蝋燭ではない、西洋蝋燭らしい蝋燭、擲つたもの、袋に入つて七八本積つて居ります。蝋燭の下のところに、難かしい文字の本が一冊、それから鋭利な小刀が一挺、紙包みの中には金子が五十圓あまり、正面に恭しくお守神のやうに飾つてあるものがありますから、開いて見ると柔縮緬の袱紗包み、又それをあけて見れば、なまめかしい小袋が前差しにする、黒鼈甲に秋の七草の模樣のある櫛が一枚はいつてゐる。その外には證據となるべきものは何にもありませぬ。木綿の袋に米が二升ほど、竹の皮には味噌、梅干、澤庵などが用意され、三四間離れたところに、炊事場が出來てゐて五郎太石が三つほどならべてあり、溝を切つて水の流れるやうになつてゐる。

部長『ウーム、行屆いたものぢや』

そこで品物だけを押收して穴から出て來た巡査部長。

部長『諸君、證據品はこれだけだ。他に證據品と見るべきものはない。唯この男の服裝に似合はぬ大金と、女の櫛があつた。兎に角小倉の警察署へ拘引しよう』

繩に怪男子は捕縛されたまゝ小倉の警察署へ引渡され、調べもせず直ぐに留置場へ投込まれてしまひました。この怪男子こそ仁科平九郎であります。

社説 物價問題が契機 革新農業政策希求

戦局は益々擴大し、國際情勢の動向も轉々に樂觀を許さず、産業經濟の各部門に亘つて更に長期戰に準備が進められねばならぬ。輸入統制、資源の開發、原料の品質等によつて、最近物價の騰勢は顯著に上昇の度を加へつゝあつて、物價對策はこゝに長期戰の重要政策として再檢討されねばならぬ。都市一般消費生活者の物價高による打撃は単に表面化し、各企業體制にも之が對策が要求されつゝある。都市生活者もさる事ながら、地方農村に於ける物價昂騰の打撃は漸く深刻化せんとしてゐる。戰時に於ける農業資源の確保持久力の根源をなすものであつて、その對策は確積極的な施設と併行して現はれねばならぬ。◇

農村に於ける銃後精神の高揚は平局に於て特に強調されつゝあつて、その奉公の誠を竭しつゝある有様は、何くしきものさへあるのであるが、時局に處して農産資源の増強にいそしみつゝ、ある種の農村が、現在見舞はれつゝあるものは物價高である。農産物價と其他の物價との上に比較するに、その鉄狀は漸く顯著ならんとしつゝあつて、物價問題が國民に與へんとしてゐるのである。農村に於ける物價問題の解決こそは當面の急務とせねばならぬ。勿論農村に於ける各種資材の配給調整の連絡による自制や配給調整等によつて物價高抑制に消極的な目的は果し得るであらうが、それは當面の糊塗策に過ぎない。革新風潮に乗つた新しきイデオロギーの下に強力なる新農業政策の確立が要求されてゐるのである。物價問題を契機として計畫化された一元的統制の下におかれた農業政策の具現を希求してやまないのである。

淶江口に不時着 敵ジャンクと戰ふ
廣東方面空襲の海軍機勇士 つひに奇蹟的に生還

【東京電話】去る四月十三日廣東方面天河白雲飛行場を空襲した我が海軍航空隊は、事變以來初見参のグロスター・グラヂエーター型二十數機と壯烈な空中戰を演じ、うち十五機を確實に擊墜したが、その際廣東上空に於て敵の地上砲火を受け機關に故障を生じ淶江口に不時着、群る敵の包圍のうちに悪戰苦鬪遂に奇蹟的に生還をなした田中富彦三空曹（熊本縣出身）勝見一等航空兵（佐賀縣出身）兩勇士の血の手記が十五日午後海軍省から發表された、勝見一等航空兵は去る五月一日三空曹に昇進してゐるがこの手記は眞に當時の凄壯な光景を目前に髣髴せしめまた平和の假面を被れる支那沿岸の我が克並に海賊軍の非道を暴露また所謂無防備都市と中外に宣傳する廣東が如何に鐵壁の防禦陣であつたかを物語つて遺憾ない

奇蹟的生還記
海軍三等航空兵曹 田中富彦
海軍一等航空兵 勝見一

四月 十三日廣東空襲の命を受けた我が空襲部隊は西垣(先)大尉指揮の下に、〇〇機、〇〇機を以て敵のG型戰鬪機の根據地として聞ゆる白雲天河飛行場を衝いて一擧に敵を擊滅してくれようと勇躍〇〇を發した、やがて廣東上空に達すると到る所からもの凄い防空砲火が一齊に開かれ高角砲彈の炸裂による白煙は恰も霧を引くやうに絶え間なく前面に立ちこめる、街の東北方に目指す天河飛行場が見える忽ち司令官機から『爆擊開始』の命令が下つた、急降下爆撃器を通して見えるのはたゞ目標のみ、他は何も見えなければ聞えもしない、『用意、撃て』弾丸は見事彈道を描いて目標に命中する炸裂する火光、忽ち見える紅蓮の焔に思はず萬歳を叫ぶ、ふと僚友もにつこりと之に應へる

その瞬間その刹那であつた『ダメダンダン』と愛機は續けさまに猛烈な敵彈を受けた『バーバーバー』どエンヂンは黒煙を上げると共に操縦席前方の硝子板…

…の旋回は止つた、墜落狀態から脱することが出來た、エンヂンは喘ぎ乍らではあるが廻つてゐる、徐々に高度を取つて見渡した所、指揮官機も僚機も見えない、之から豫定集合地點へ行くなど思ひもよらない、ふと自爆といふことが頭にひらめいたが早まつてはならんと我れと我が心を勵ましつつ〇〇に還る覺悟を決めて針路を南に取つた

暫くすると、眞下に海が見えた淶江口に出たのだ、だがこの時突然プロペラーがはたと止つた

最早や萬事休す、高度は五百米、三百米とぐんぐん下る、もうかうなつたら敵前不時着あるのみ勝見一空兵は悲壯にも決心を面に現し最後の通信とばかり無電のキイを握つた『用意はよいか』『よい』前車輪が水を切り愛機は海中に落ち込んで行く、落着きが第一だ上下が分らん、バンドを外せ、海面に浮上つて深呼吸する、僚友も水に浮いてゐる、愛機は後尾上部を水面に出してつき立つてゐる、こゝは海中とはいへ敵前だ『機銃を下せ』『彈倉を外せ』と先づ戰鬪準備おさく怠りなく次いで救命袋を取り出して警戒に入る

時に 零時四十分、やがて遙かに陸地が見える、ジャンクが段々帆を上げて徐々動き出した、何れも我が方に次第に接近して來る萬一の場合に備へて應戰の用意をしてゐたこちらでは警戒しながら…

ジャ ンク群の右端の指揮船らしいのが先端に吹きそれを左右に分けるやうなものを揚げそれを左右にして合圖すると忽ち三方の…

西方に聞える 四僚機の爆音

この時西方に當つて僚機の爆音が聞えて來た、彼方の空を我が〇〇機が上するのが見えた…

蔣直系十四軍を一擧擊滅せんとす
支軍の總攻擊を援けんと 〇〇部隊"光榮の孤立"

【〇〇にて中川特派員】二十二日（五月）夜苦心の結果〇〇縣城附近を中心に包圍攻擊し來つた敵情を明瞭に知ることが出來た、決死的偵察の活動により敵の攻擊計畫表を入手し、それによると蔣介石直系の中央軍は皇軍の徐州總攻擊の援方攪亂を企圖し黄河を渡河、十日から〇〇〇と〇〇縣城を中心に包圍し〇〇部隊が徐州へ增援に向ふか、或は黄河を渡河し西安に進擊せばこれを擊退しつゝ隴海線附近まで進…

…はれる十萬の中央軍第十四軍を殲滅し"光榮の孤立"と名譽の苦戰をなしてゐるのだ、〇〇部隊長は十三日から軍服を着た儘で、井村部隊長、山本部隊長以下最高部は既に十日間一睡もせず全軍を指揮し、二十二日漸く一切の計畫…

血戰 の雲ゆき荒く

極東問題應答頻り
十五日の英下院質問時間で

【ロンドン十五日同盟】十五日の下院質問時間は又々極東問題に關する質問應答に終つたが重なる問答左の如し

◇ニイル・マックリーン議員（勞働黨）

南京 日本軍當局は南京に在住してゐたイギリス人が財產の調査保護のため南京市内に入ることを拒否してゐるといふが如何

◇バトラー次官 政府は駐日クレギー大使を通じて關係イギリス人が南京に歸還出來るやう日本政府に申出を行つた、余の知る限りでは日本側は南京附近を軍事作戰の一部と見てゐるやうである

◇ニイル・マックリーン議員 日本當局は支那商人に對して英米商品の販賣を中止するやう命じたといふが如何

◇バトラー次官 **かゝ** る事實を物語る證據は外務省には未だ届いてゐない

◇一議員 日本軍の廣東空襲による犠牲者の實數如何

◇バトラー次官 政府がこれまでに入手した情報によれば日本軍の廣東空襲により五月二十八日から六月十日までに三千五百乃至四千の死傷者を出した模樣である、西議員に對するイギリス政府の抗議に對しては宇垣外相からクレーギー大使に一應事情の説明があつたが…

學生生徒主事會議(第二)

【東京電話】文部省直轄學校學生生徒主事會議第一日は十六日午前九時より本省會議室において開催…

米倉入庫高 減り足を辿る

朝鮮米穀倉庫の現在入庫高は五百五十萬俵にして最高入庫時よりすると政府米の内地輸送時局關係の消費等により百十萬俵内外の減少を示してゐる…

米倉南浦倉庫擴張

米倉の鎭南浦支店倉庫は最近の入庫米激增收容能力不足のため鎭守増築計畫を進めて居たが、今回六百坪を擴張することゝなり近く着工することに決定した

保安林整備で 編入方針を決定
十五日道知事あて通牒

本府では朝鮮山林の現狀に鑑み一層保安林の整備擴充を圖るべく次の如く保安林編入方針を決定し十五日附を以つて各道知事宛に通牒を發した

一、左に掲ぐる林野については保安林編入の必要を認めたる時は成るべく速かにこれが編入處理をなすこと（イ）土砂の崩壞流出により現に地表剝出し又はその虞れある林野、（ロ）洪水暴風、潮水飛砂等による被害防止上特に必要なる林野（ハ）上水道、水力發電及灌漑事業に伴ふ貯水池、若くは配水池に直接關係ある林野（ニ）魚族の蕃殖又は棲息上直接關係ある林野

二、砂防地附近林野の保安林編入については砂防事業施行區域なるの故を以つて直にこれが編入をなすことなく、地勢、地質等各方面より愼重なる調査の上處理し保安林編入の實績を揚げしむること

三、水源涵養を目的とする保安林は之れが編入によりその機能を十分發揮し得る區域の選定に留意し、これが決定については局部的見解に促はれざること

四、衛生林及風致林は成るべく保安林に編入せず、森林令第四條及び第五條の規程に基いて發したる命令の運用によりその目的を達するやう努むること

五、保安林の解除については解除を必要とする事由並に解除による影響等を詳へ特にその取扱の嚴正を期すること

聯合青年團結成
來る九月に結團式

子の活動を一層強化するため都市乃至部落村に於ける婦人の任務を充分に發揮せしめ、戶外に於ける男子の活動を充分になさしめるべく女子青年團の結成に乘出すこととなつた、尚は本府社會教育課では、青年團員制服基準を制定、既に通牒を發して團服の統制を行はしめることになつた

忠北視察隨行記 (四)
順次鑛山地帶を視る
大野特派員記

溪 流のせゝらぎ、メンコン蛙の鳴聲を枕頭に聞きながら靜寂の一夜を水安堡旅館に過した總督…

次いで大黒鑛山に到り主任から種々狀況を聞いたが主任さんの説明が充分でない『君は鑛山の專門家ではないネ』と一本急所を衝かれ…

め最初來た十名の少年は名近くになり最初に來た者が既に一人前の、技術家になつてゐる

こ のため時局下一層…

途 中道草を喰つたゝめ無…

湖院と京畿道長湖院とは何を隔てゝ市場問題で永年爭ひが續けられてゐる、先に京畿道を巡視した際京畿道側の堤防上でこの説明を聞いたが今回はわざ〳〵忠北側の堤防に立つてこの問題を聞いた、果してどんな解決が與へられるか、國費の肚は決まつたらしい

夕刊後市況 引續き不振

滿算の小浮動に資氣ふんど案弱して諸株平調を續け商動搖待ち場面となつてゐた

◇大阪短期引際氣配

大新	八一圓八	不變
新東	一四七圓八	不變
鐘紡	一二四圓七	一安
日産	七八圓五	一安

ツルチエク広告寫眞入賞發表

貳等（壹席）賞金貳拾圓 副賞 京日メダル 秋山幸夫

← 壹等 賞金五拾圓（副賞）京日カップ 田中さだし

謹告

初夏の候益々御清榮の段賀し奉ります。扨て今般標題の下にツルチエク廣告寫眞を募集致しました處鮮内同好各位には各種行事繁忙の折柄にも拘はらず奮つて御援助を賜り茲に燦として輝く珠玉の名作を頂戴致しました事は誠に感謝に不堪紙上をもつて厚く御禮申上る次第で御座ゐます

思ふに今回の企では半島商業美術寫眞の進展に一段の刺戟と拍車を加へたものとして意義一入深くアマチユア寫眞壇に一頁を記した事は、洵に慶賀に堪へざる處であります。我敬愛たる同好者各位には何卒今回の事業を永く銘記され來るべき第二回の募集に更に一段の御精進あらん事を希望致します。最後に本事業の遂行にあたり終始絶大なる御後援を賜はりました京城日報社並に審査員各位に深甚の謝意を表する次第で御座ゐます。

昭和十三年六月

ツルチエク本舗

稲垣多四郎

入賞

壹等 京城 田中さだし
貳等 壹席 京城 秋山幸夫
同 貳席 仁川 小山喬
参等 壹席 仁川 魚住露葉
同 貳席 仁川 河野琴舟
同 参席 全州 沼喜久一

入選

京城 田中さだし
同人
同人
京城 江島喜
同 吉林清方
同 秋山幸夫
龍山 佐藤信吉
同 佐藤清平
同 佐藤順一
羅南 鎌野ふみ子
同 高築鶴寶節
仁川 魚住露葉
同 魚住一英
同 小山喬
同 河野琴舟
木浦 藤原勝利
同人
端川 松田泰典
清州 李在暎
羅津 安藤忠太

（以上二十點）

審査を終へて

山澤三造

廣告寫眞は藝術寫眞ではない、作者自身の主觀にばかり囚はれて折角の大衆を引つける力に欠けたものでは役立たない。幸ひ應募された作品はみなかうした廣告價値を高める爲め相當苦心された跡は充分窺はれる。だが餘り凝り過ぎて却つて効果の薄らいだものも二三あつた。

特に今回の企では直ちにこれを廣告寫眞として實用化しようといふのであるから印刷の上でよく見えてもこれを細版に通して効果を欠くやうでは困るので選に臨み一層慎重に考慮したのである。

選ばれた入賞作はいづれも商品のもつ特異性を端的に强調され申分のない出來榮といへやう。しかし應募作品の大多數は餘白を十分殘してゐなかつたので、これに文字を書入れて畫面との調和をはかるとすれば相當な技巧を要することになる。この點應募作家に於て豫め着想に留り考慮し置くべきであらう。尙朝鮮色を盛つたものに優秀作の少なかつたことを惜しむ。

しかし大盤に於いて豫期以上の好成績を得て大成功であつた。更に次回の催しには是非一層の研究を期待し度い。

↑貳等（貳席）賞金貳拾圓 副賞 京日メダル 小山喬

→参等（参席）賞金拾圓 副賞 京日メダル 沼喜久一

↑参等（貳席）賞金拾圓 副賞 京日メダル 河野琴舟

↑参等（壹席）賞金拾圓 副賞 京日メダル 魚住露葉

見果てぬ青春【147】

川口松太郎作 志村立美繪

─新興キネマ東京撮影所上演映画化─

その父 (六)

『私一人では、どうも考へがつきませんので、御迷惑と思ひましたけれど、お呼び立ていたしましたんで……』

『迷惑な事は少しもない。知らない内は兎も角も、逢へるやうになつたのだから、何事も氣兼ねなく』

『君は横井を知つてゐただらう』

やがて、勝村が昔の話を初めた。二十五年前の、お時がまだ新橋の藝妓にゐた頃のことだ。

『存じて居りますとも、勝族の横井道晃さんでございませう』

『さうだ、あれが今では横井家の當主になつて、外務次官を勤めて居る』

『まだ學生時代でございます』

昔語りになるとお時の顔も生きした。

『その横井に、新橋の藝者で、福龍といふ女のあつた事をおぼえてみないかなあ』

『知つて居りますとも、お目にかゝつては居りませんが、福龍さんの事は忘れません』

『どうして忘れない』

『私が孫を産んだ年に、福龍さんも横井さんの女の子をお産みになつたぢやありませんか』

『……』

『同じ年の出來事なんで、今だにはつきりおぼえて居ります』

『それを忘れずにゐれば説明は簡單なんだ、その時福龍の産んだ子供が、今の蕗美次なんだよ』

『……』

『蕗美次のお母さんが昔の福龍なんだよ』

『今の事は何にも存じません、私の存じて居りますのは、新橋で藝者の會があつた時分で、』

『知つてゐるかい』

ラヂオ

十七日(金)

第一放送

朝の部

午前六・〇〇(東) ラヂオ體操
六・一五 ニュース
六・三〇(東) 支那語講座
七・〇〇(東) 時報
七・〇一(東) 朝の修養
七・二〇(東) 朝の音樂(レコード)
一〇・〇〇(城) 家庭メモ・料理獻立(茄子の肉詰) 同(鰈のアメリカン・清津) 日用品値段
一〇・二〇(名) 婦人の時間 衣服原料の見分け方 愛知縣工業試驗場技師 石川 清人
一一・〇〇(大) 小學生の時間 「第三」對話〃かいこの身の上ばなし〃 若草こども會

晝の部

正午(東) 時報(名) 歌とマンドリン
一、良寛さまの歌(イ)栗焼き(ロ)辺つくり(ハ)良寛さまと雁
二、野原の薔薇 三、鶯の夢
獨唱 永田絃次郎
マンドリン クラブドメニカ
第一マンドリン 中野 二郎
第二マンドリン 新見允四郎
マンドラ 磯部 金七
ギター 伊藤 正二
同 船橋 金吾
チエロ 堀 浩
打樂器 林 秀吉
午後〇・二〇 ニュース・鮮魚卸値段
一・一五(城) 家庭の時間(朝鮮語・釜山) 涼しい夏の料理 尹 徳容
二・〇〇(東) 小學生の時間「高等科」音樂鑑賞講座(五)吹奏樂の話 解説 酒井 悌
二・四〇(東) ラヂオ體操
三・〇〇(城) 商店講座 商賣によつて違ふ店舗の設計と陳列 川喜田煉七郎
三・二〇(東) 敎師の時間 最近支那の情勢 外務政務次官 松本 忠雄
四・〇〇 ニュース・職業紹介
四・三〇(城) 野球試合實況(決勝戰ある場合)(京城・平壤第二接戰) 京城實業野球リーグ「遞信─鐵道」決勝戰─京城球場より中繼─(雨天順延)

夜の部

六・〇〇(大) お話(テキスト三十六ページ)『どうして出來たか』(一)ピラミッドとスフィンクス 大阪童話敎育研究會 村岡 花子
六・二〇(東) コドモの新聞
六・二五(東) 講演 日比谷公會堂より中繼
一、時局下の台灣 拓務大臣 大谷 尊由
二、台灣文化の兩面 陸軍大將 阿部 信行
六・五五(東) カレント・トピックス
七・〇〇 ニュース
七・三〇(城) ラヂオ常識(六) 中繼放送とは 篠原 昌三
七・四〇(上海より) 講演 中國民國維新政府實業部長 王子惠 維新政府より日本に望む

臺灣施政記念の夕

─日比谷公會堂より中繼─
八・〇〇(東) 新日本音樂
一、瑞竹の歌 歌 牧瀬 數江
尺八 吉田 晴風
同 林 阿發
箏 吉田 恭子
同 乾 早紀子
二、春の海 箏 宮城 道雄
尺八 吉田 晴風
八・一五(東) 講談 〃出世車〃 大島 伯鶴
八・四五(東) 歌謠曲 松原 操
伴奏 コロムビア管絃樂團 指揮 仁木他喜雄
一、台灣防衛の歌 二、台南州消年歌 三、いのちがけ 四、台灣よいとこ

第二放送

九・〇〇(東) 時事解説
九・三〇(東) 時報・ニュース・ニュース解説・明日の暦・翌日の番組・地方へのニュース・餘興美談
正午 レコード
午後一・一五 家庭の時間 尹 徳容
六・三〇 お話 金 漢奉
七・〇〇 講演 徐 鋼準
八・〇〇 ラヂオドラマ 白光會
八・二五 俗謠 鄭 明月
八・四〇 歌曲 金 漢紅
九・〇〇 時事解説 咸 何勳
九・二〇 ラヂオ常識
一〇・一〇 初步國語講座(三) 宋 今璇

あすのきゝもの

十八日(土)

午後二・〇〇(城) 婦人の時間 水の知識 京城府水道技師 木代 嘉樹
六・〇〇(東) うたのおけいこ 子供は寶(一) ダン 道子
六・二五(城) 講演 歐米に於ける私の觀た對日本感情 京城高等商業學校教授 加藤 平
六・二五(大) 講演(清津) 熱帶魚の觀賞と飼育 堺水族館長 靍司 信數
八・〇〇(東) 浪花節 東 天晴 天紅
八・三〇(東) 俚謠─錄音─ 曲師 東京府下八王子連中・外
八・五〇(東) ラヂオ小説 〃並太と三平の話〃 今泉 蘇・外

朝鮮の放送事業【2】

土師 盛貞

……く朝鮮内でも有効距離は益縮小されて普及型の受信機では京城から精々百キロメートルの程度までしか有効でありません。從つて中央に一箇所と云ふ案は如何に大電力を以つてしても夜間丈けを目標とし(ない限り)實行困難であり從つて所謂全鮮放送は到底困難であり從つて明るい間の放送をも目標とするならば地方々局を必要とする次第であります。又此の外地方に放送局があると假設すると云ふ特長がありますので聽ける限り成る程度の人口集中地には假令小さくとも放送局を置くことが普及上にも經濟上にもいゝのであります。

之が爲に我が朝鮮の現狀でも現在京城と平壤に二重放送が在り釜山、淸津に國語丈けの單一放送が在る外、咸興、裡里二ケ所の局を近々に開局せんとし、今後も財政の許す限り地方に散在せしめて普及に努むる方針であります。

第三の理由は之もよく人に言はれることでありますが、一體朝鮮の放送は中繼が主だから割合に簡單に經費が出來て費用も餘り要らぬだらうと思ふが如何かと云ふことであります。之は大體第一放送だけを聞いて居られる人であらうと思はれますが、失禮ながら是は朝鮮には第二放送があると云ふことを無視した觀察であり、且又第一放送でも中繼放送は技術上は却つて複雜であり費用も餘計にかゝると云ふことに付いて認識が乏しいことから來る結果であります

蓋し朝鮮の現狀として二重放送は必要已むを得ない施設でありますが、二重放送は其の放送設備に於て二重にものを要するのみならず、正式の朝鮮語放送は朝鮮外何處にもありませんから他から中繼を受ける途は無く全然朝鮮で創作する必要があるのであつて、此の點は第一放送よりも餘計な勞費を必要とする譯であります。然らば

第二番目の問題は時々御尋ねを受けるのでありますが、一體あちこちに小さな放送局を造るよりも京城なら京城に大きなのを一つどつしりと造つて其處から全鮮に放送したらどうだらうと云ふ點であります。中央に一つ大きな放送設備を置いてそれで總ての用が足せるならば誠に此の說の通りでありませう。所が此處に厄介なことは電波の性質として夜は區分と遠方まで行くが晝間即ち日中の光線が在る間は電波は退ひの外、極めて聽く有効距離がズット縮小されると云ふ點であります。例へば最近東京の郊外に出來ました百五十キロ放送は夜間は勿論、朝鮮迄まで樂に屆きよく聽えるのでありますが晝間でありますと同じ受信機で聞き得る範圍は關東平野を出る事餘り大きくないと言ひます。又京城の五十キロは夜は九州、中國等は勿論北滿のチ、ハル邊までも聞こえると言ひますが晝間は勝張り……

本社特選 半島大棋戰 (4)

二段 松本 薫氏
二手 朴 勝彬氏

黒右邊を放棄 好手二段バネを看過す

講評 七段 瀬越 憲作

觀戰記

商店講座 店舗に依つて異る店舗の設計と陳列 (第三回) 川喜田煉七郎

中繼放送とは (ラヂオ常識 6) 篠原 昌三

氣象通報

大阪商船出帆

九州郵船出帆廣告